



毎日、発明する会社

# 2015年4月期 通期決算説明資料

フリービット株式会社

2015/6/12

(注意事項)

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

## 本日のアジェンダ

1. 2015年4月期 連結業績
2. 2015年4月期 セグメント別業績
3. 2016年4月期 業績予想

# 本日のアジェンダ

1. 2015年4月期 連結業績

2. 2015年4月期 セグメント別業績

3. 2016年4月期 業績予想

3

2015年4月期 連結業績サマリ

4

## 2015年4月期 通期連結業績トピックス

**モバイル事業とFS社のアドテクノロジー事業の継続的成長**により、前期比売上高103.9%を達成

MVNO Pack、VDC及びマンションインターネットの売上増加に伴う収益は継続的に拡大

CCCとの資本・業務提携により、**freebit mobileを両グループの合併会社に移管**。CCCグループとの協業により、**来期以降の飛躍的なユーザー数拡大基盤を構築**

**freebit mobile フランチャイズマスタープログラムのCCCグループへの譲渡収益400百万円を売上ではなく特別利益に計上したことにより**、営業利益、経常利益は計画未達となるも、当期純利益は大幅に増加

CCCとの資本提携(約30億円増資)により、ネットキャッシュは大幅増加。**自己資本比率50.9%** (前期末 36.1%)、純資産額は100億円に到達

5

## 通期業績予想と実績の差異について

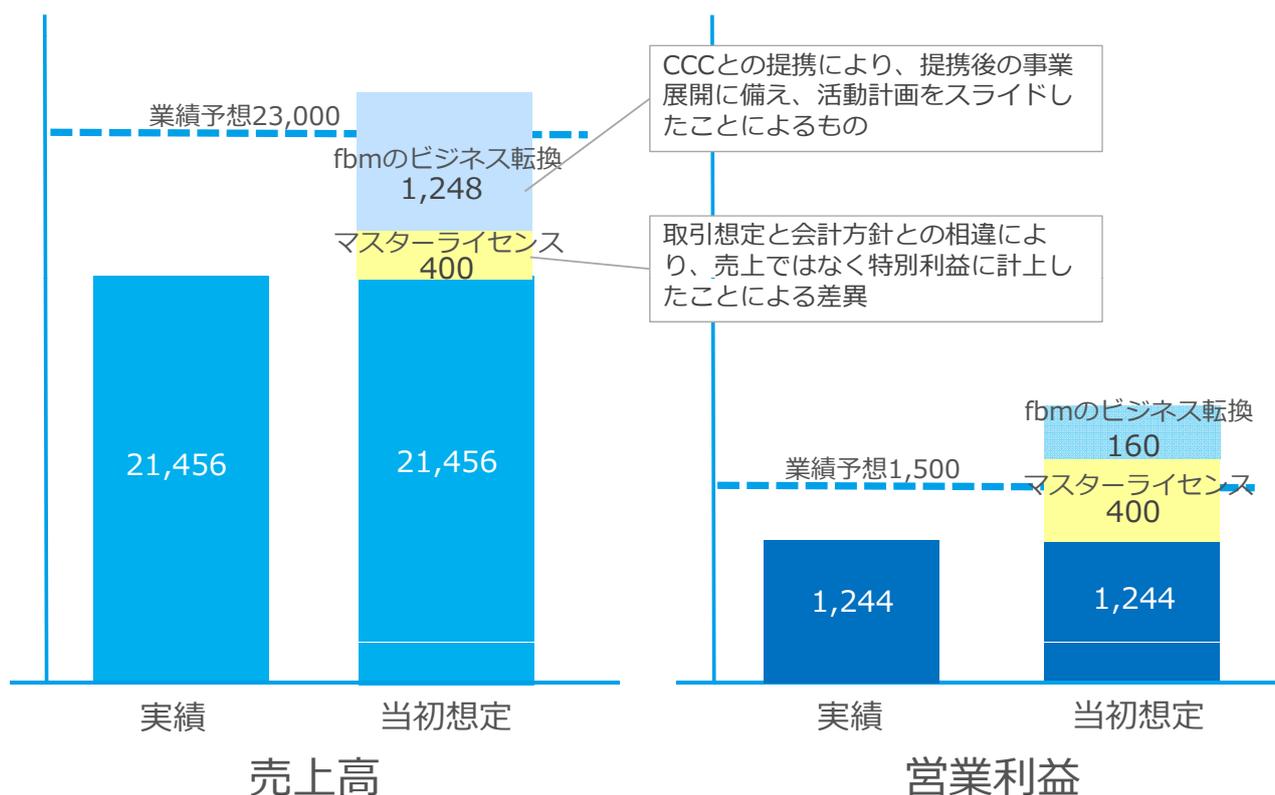
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回予想	23,000	1,500	1,350	600	30円70銭
通期連結実績	21,469	1,244	982	1,025	51円40銭
増減額	△1,530	△255	△367	425	-
増減率	△6.7%	△17.0%	△27.2%	71.0%	-
前期連結実績 (参考)	20,665	1,320	1,219	235	12円06銭

6

## 通期業績予想と実績の差異内訳イメージ

(単位:百万円)



7

## 2015年4月期 通期連結業績

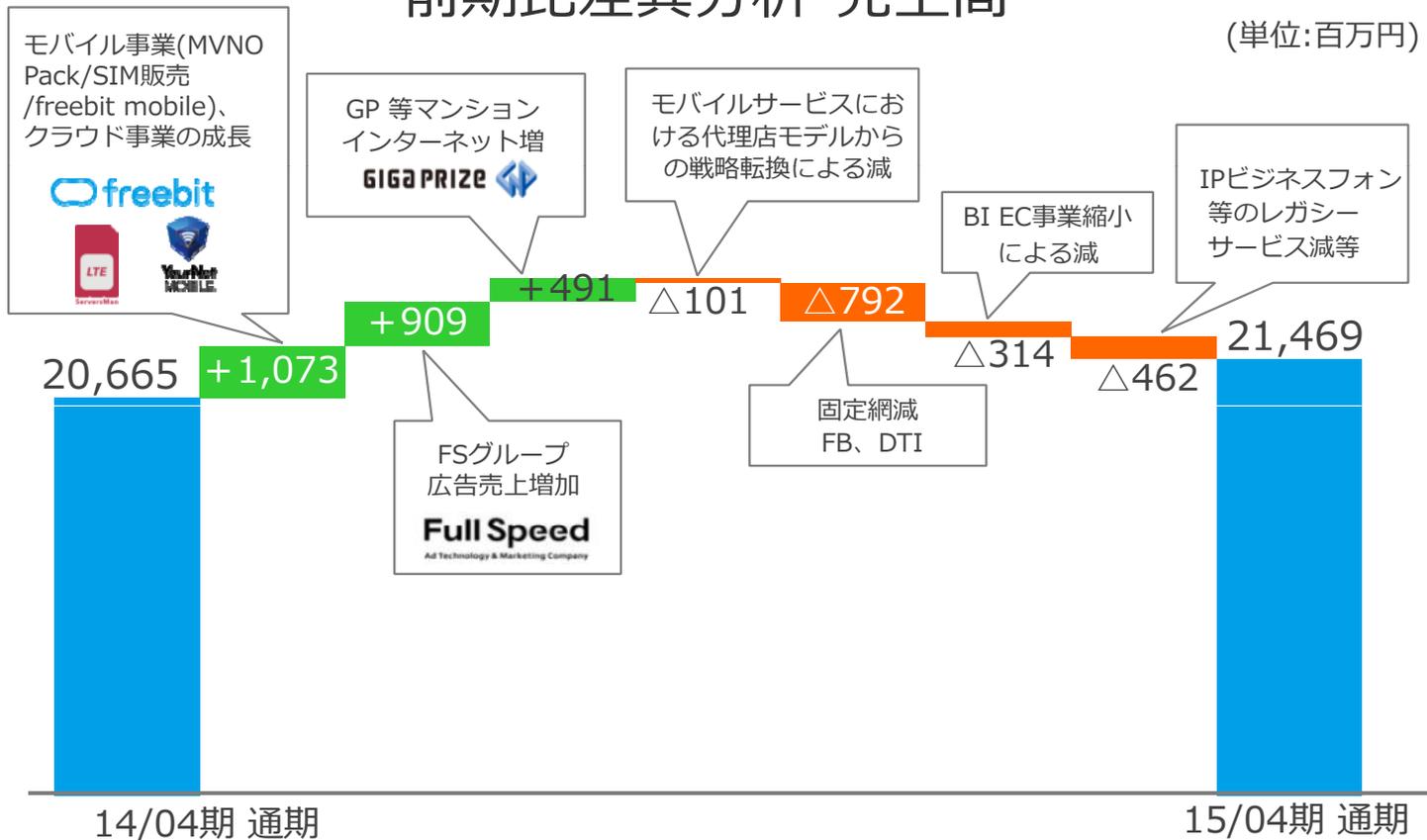
(単位:百万円)

	14/04期 通期実績	15/04期 通期実績	前期比	サマリ
売上高	20,665	21,469	+3.9%	モバイル事業及びFSのアドテクノロジー事業の継続的成長により増収
EBITDA	2,386	2,227	△6.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 営業利益が76百万円減少</li> <li>• のれん償却額減少とリース債務返済による支出増加により減少</li> <li>• 中期経営計画での戦略的投資分を除くと、対前年同期比13.6%増</li> </ul>
営業利益	1,320	1,244	△5.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MVNO Pack、VDC及び子会社ギガプライズのマンションインターネットの売上増加に伴う収益は継続的に拡大</li> <li>• 中期経営計画での戦略的投資分を除くと、対前年同期比30.8%増</li> </ul>
経常利益	1,219	982	△19.5%	営業利益減少等により減
当期純利益	235	1,025	+335.1%	フリービットクラウドとDTIの合併による繰延税金資産の計上及びFCマスタープログラムの譲渡により大幅超過
一株当たり 純利益	12円06銭	51円40銭	【+39円34銭】	

8

# 前期比差異分析-売上高

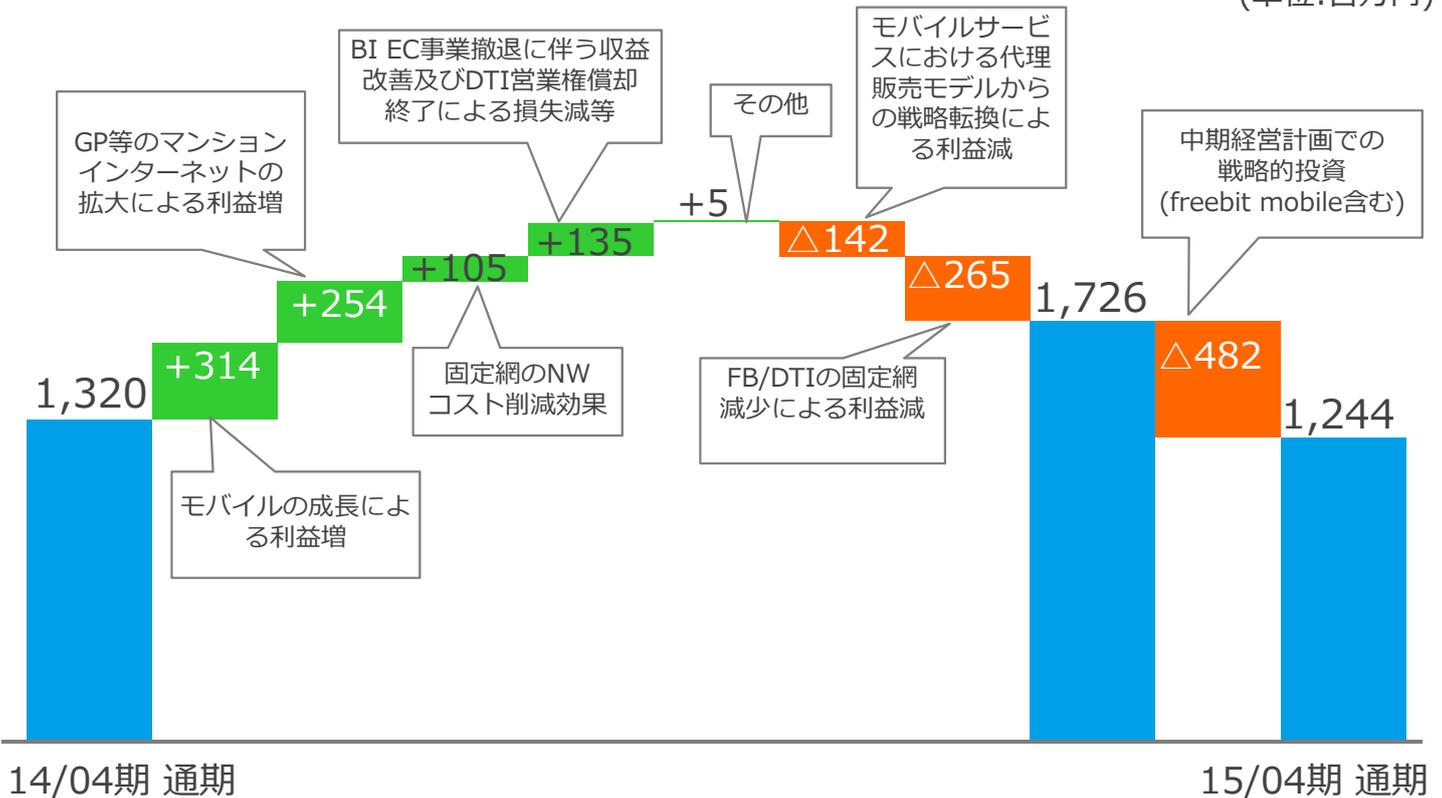
(単位:百万円)



重点事業のモバイル、アドテクノロジー及びマンションインターネットは堅調に推移  
固定網とBIの撤退事業及びレガシーサービスの終了による減少分をカバーして前期を上回る

# 前期比差異分析-営業利益

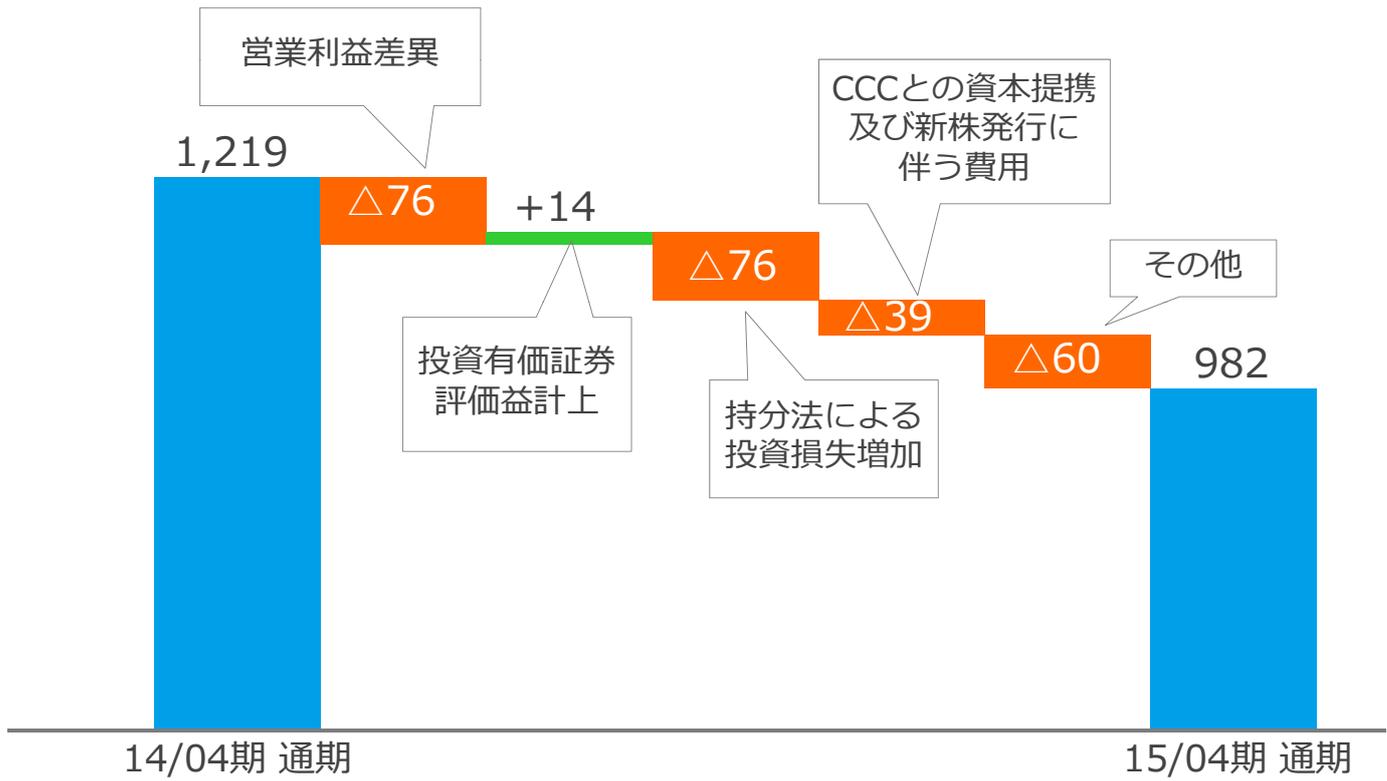
(単位:百万円)



モバイルの増加及びマンションインターネットの拡大、固定網のNWコスト削減効果が  
あったものの中期計画達成に向けた戦略的投資により、前期比5.8%減

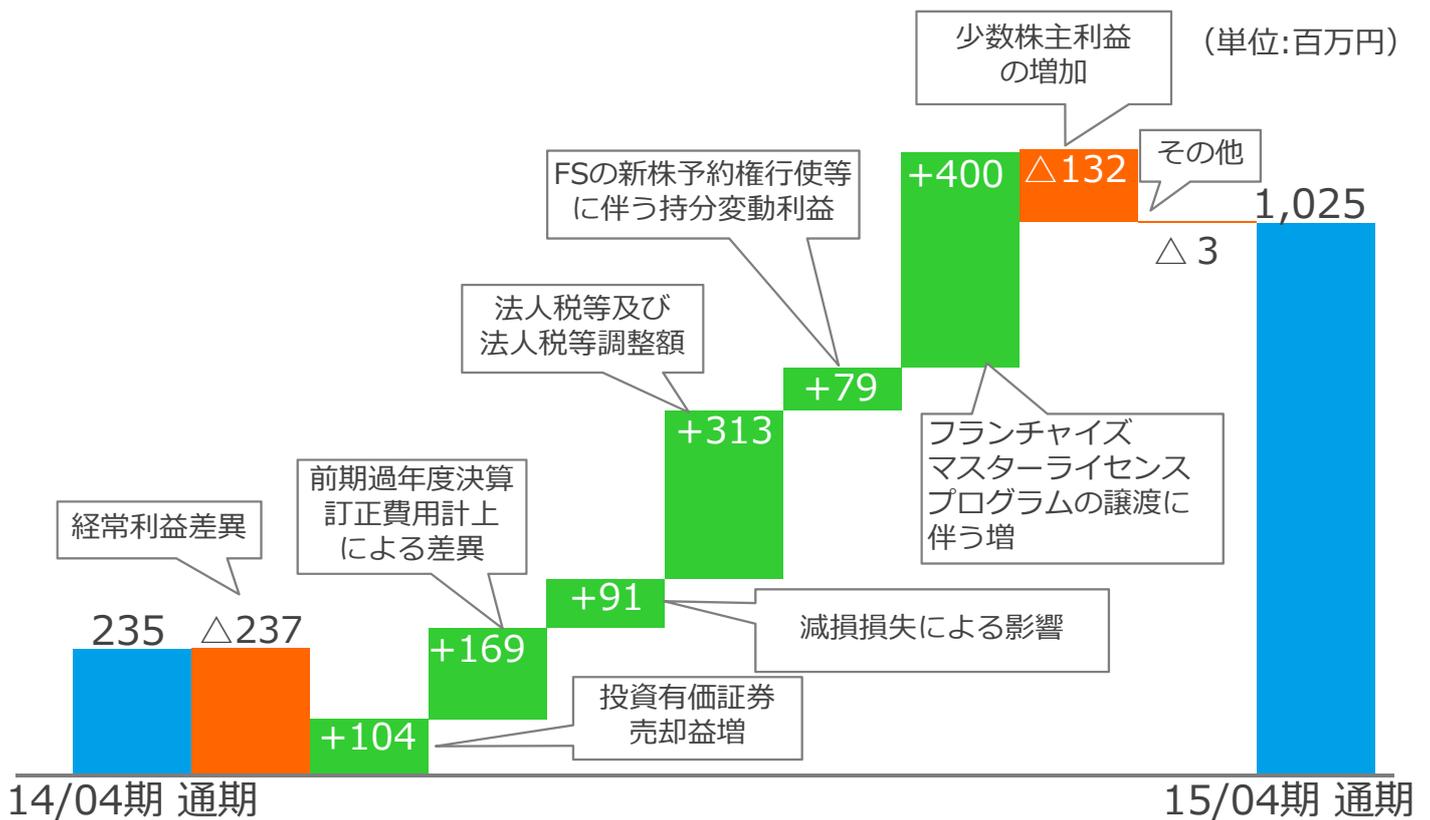
# 前期比差異分析-経常利益

(単位:百万円)



# 前期比差異分析-当期純利益

(単位:百万円)

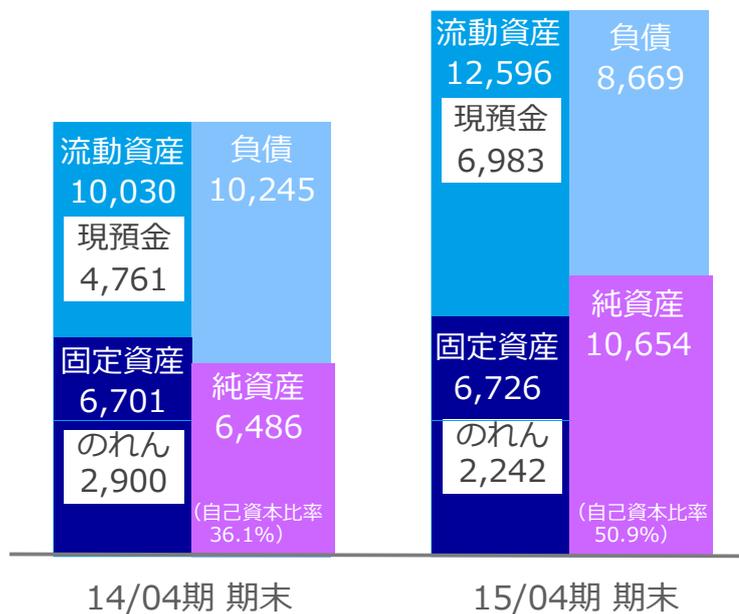


## 通期業績サマリ BS(抜粋)

13

### 連結業績サマリBS（資産の部）の推移

(単位:百万円)



現預金：46.7%増

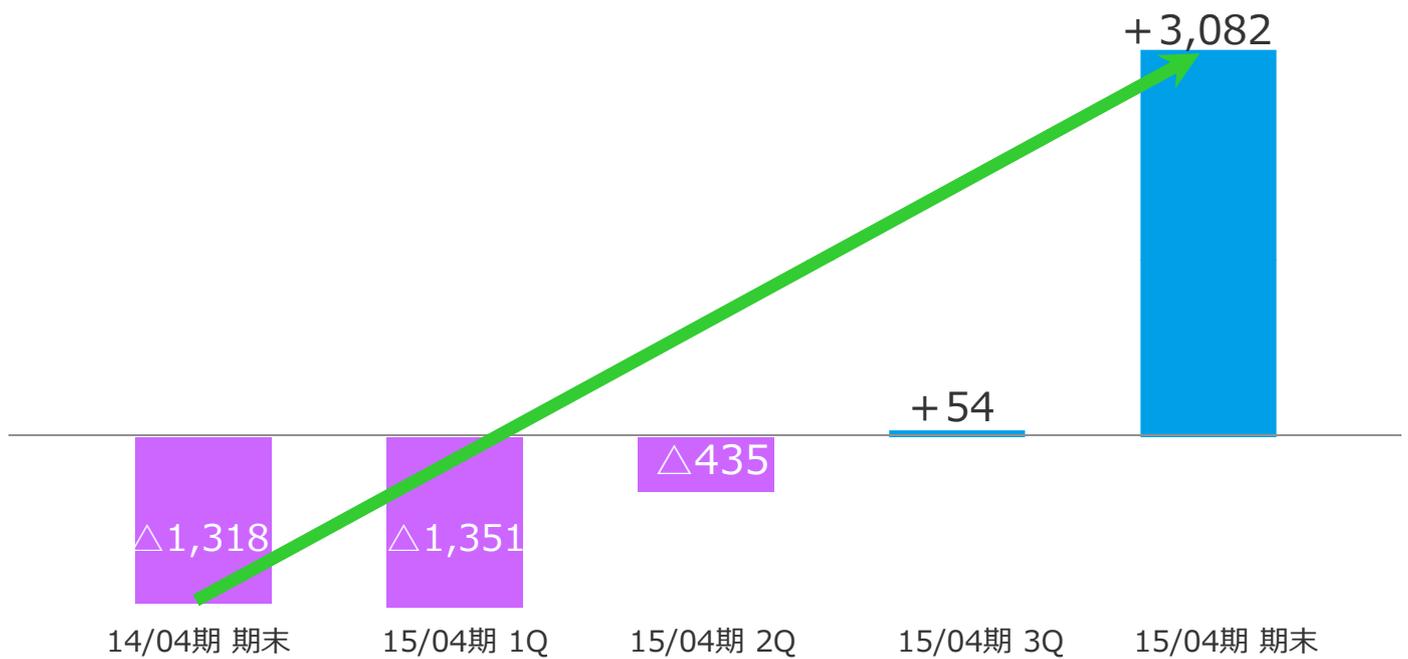
のれん：22.7%減

純資産：64.3%増

14

# ネットキャッシュ推移

(単位:百万円)



CCCとの提携により、前四半期比30億円増

15

## 本日のアジェンダ

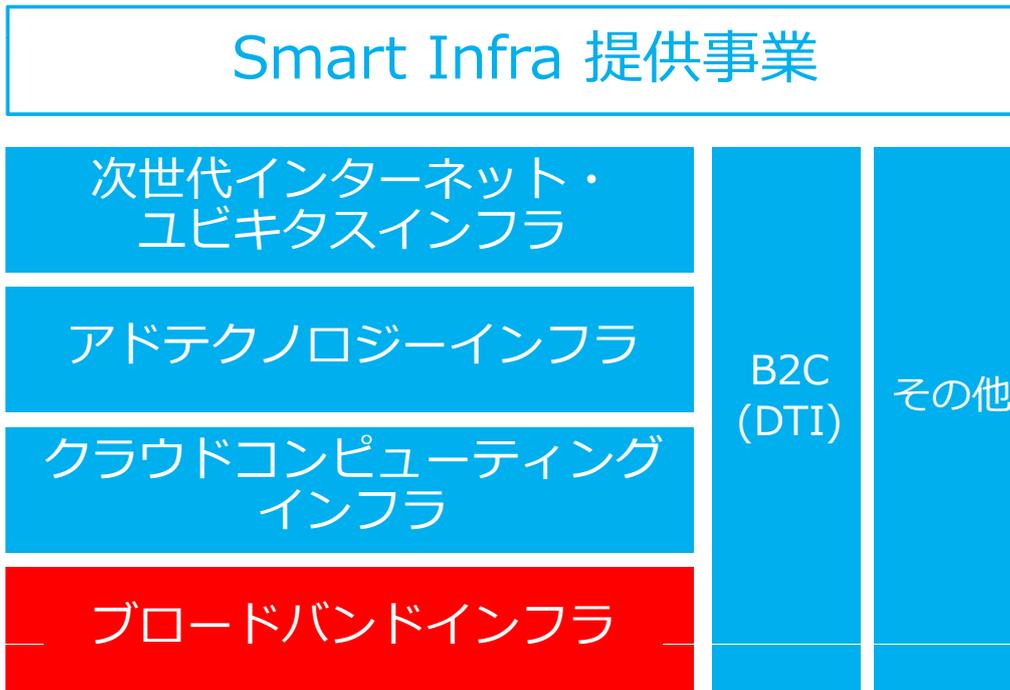
1. 2015年4月期 連結業績

2. 2015年4月期 セグメント別業績

3. 2016年4月期 業績予想

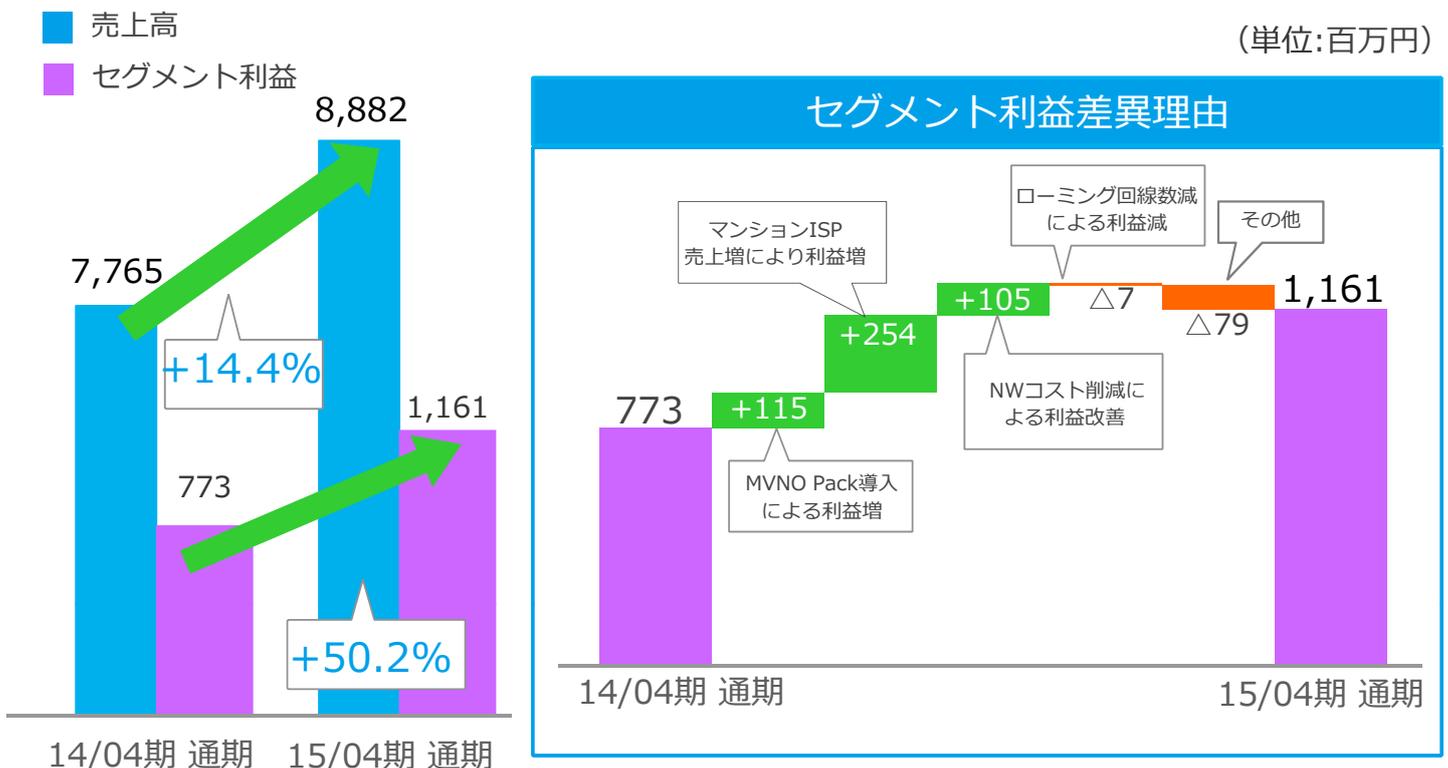
16

# フリービットグループの事業



17

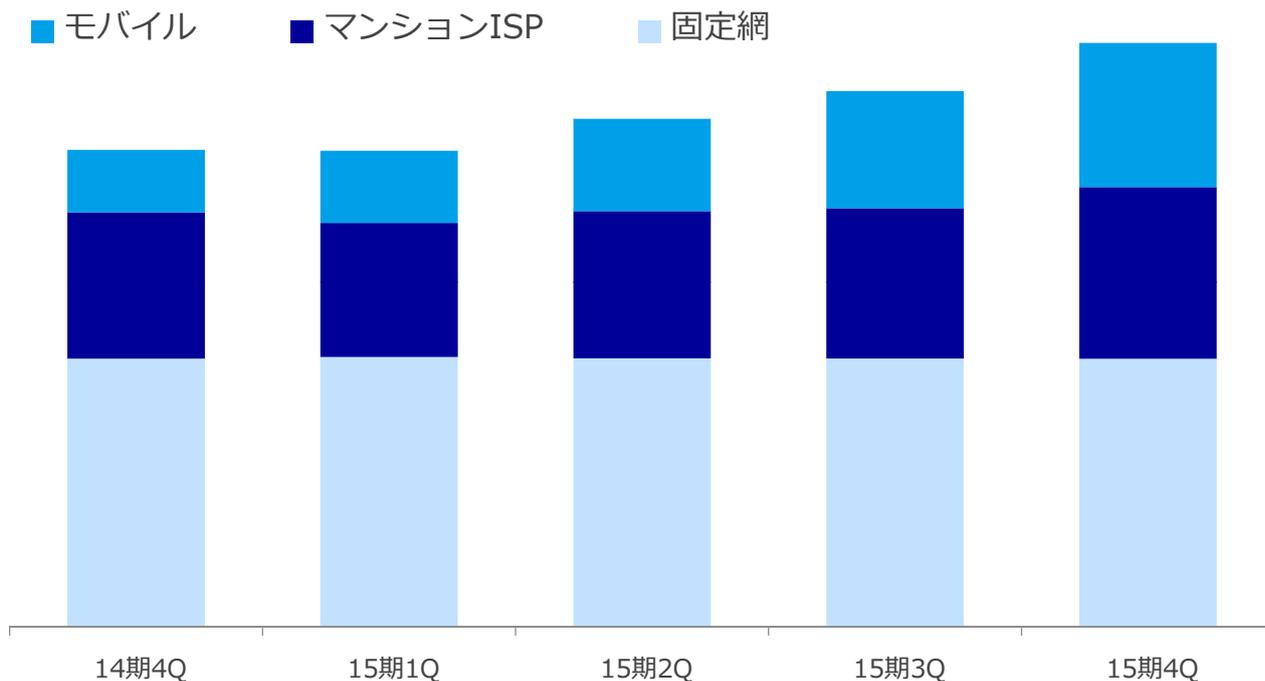
## BBインフラ 前期比



BBインフラはMVNO Packの導入が順調に進み、NWコスト削減効果も寄与

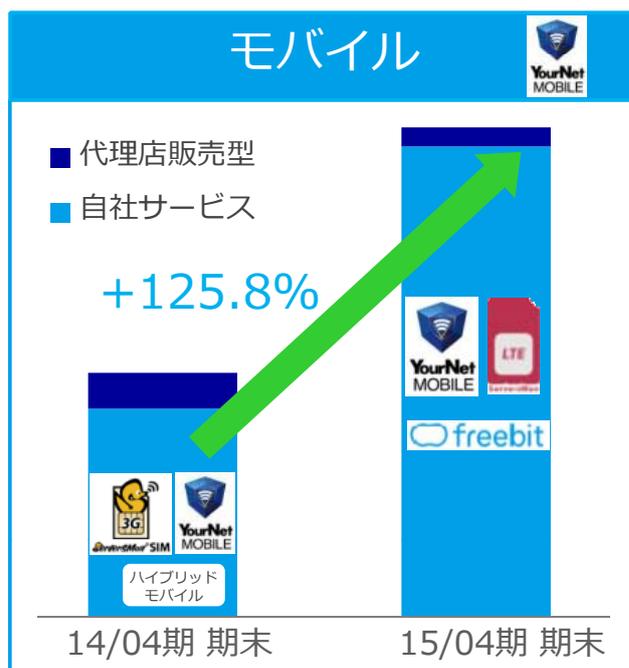
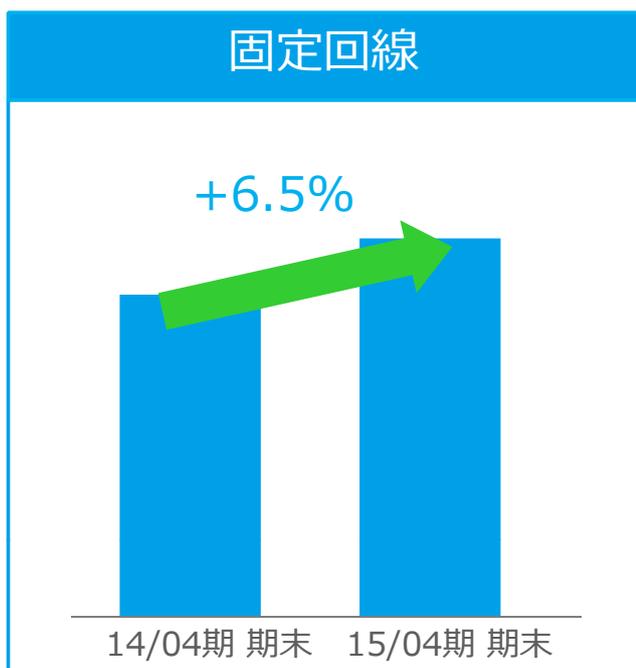
18

# BBインフラ 主要事業売上高推移



モバイルは前年第4四半期比+130.7%、前四半期比+23.2%と順調に拡大  
マンション・固定網も堅調に推移

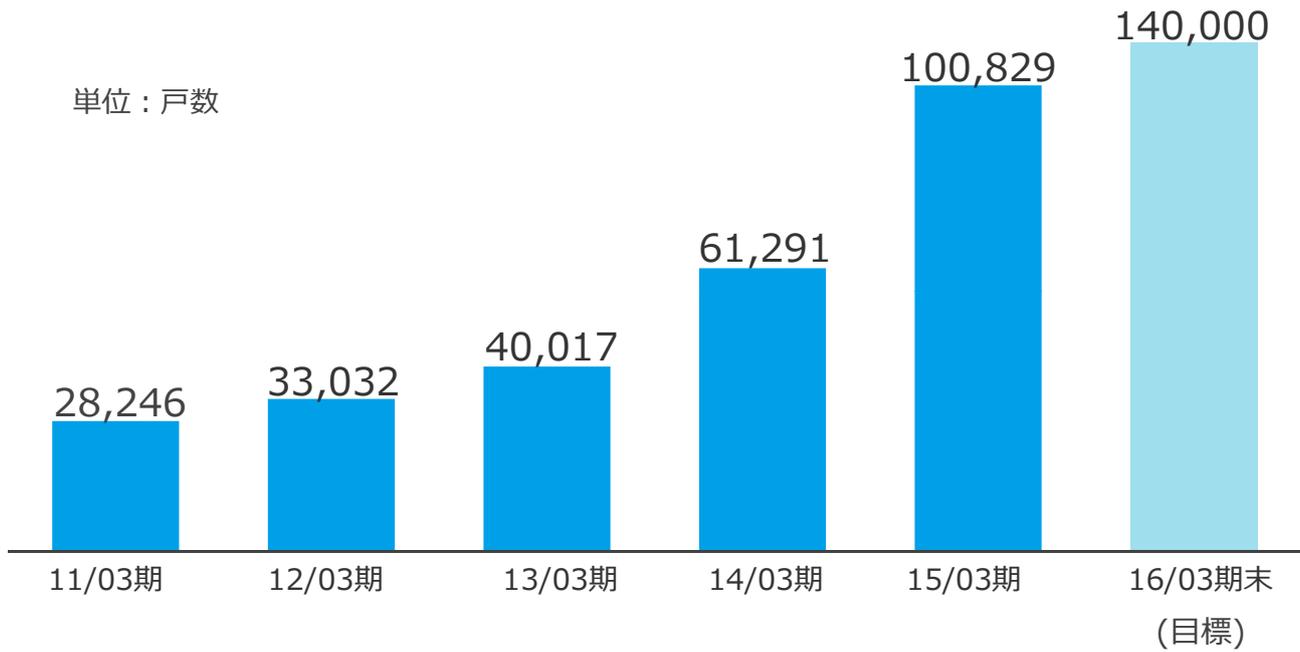
# BBインフラ アカウント数推移



固定回線はマンションISPの増加により純増  
モバイルはMVNO Packが順調に推移し、アカウント数は大幅に増加

## 集合住宅向けISP導入実績

単位：戸数

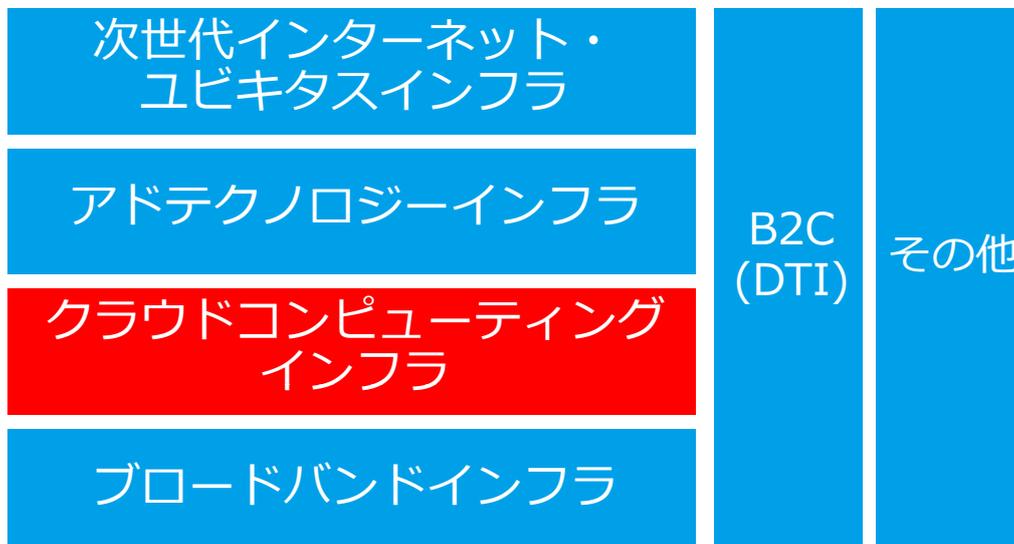


大手住宅総合メーカーとの提携等により、来期14万戸導入を目指す

21

## フリービットグループの事業

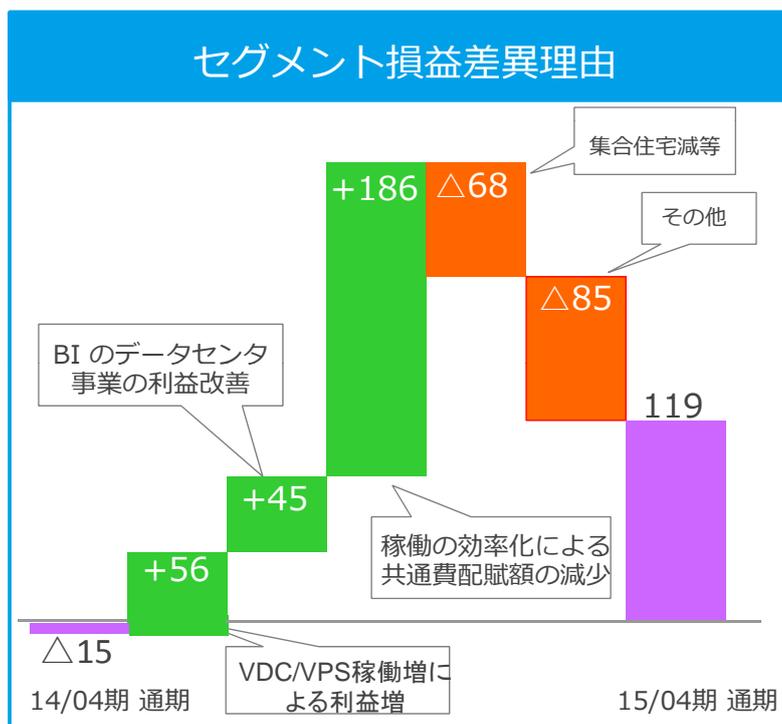
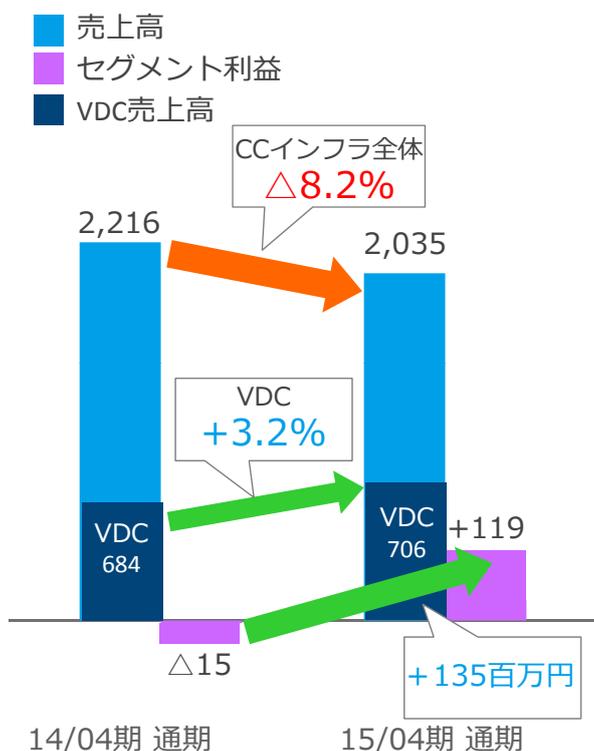
## Smart Infra 提供事業



22

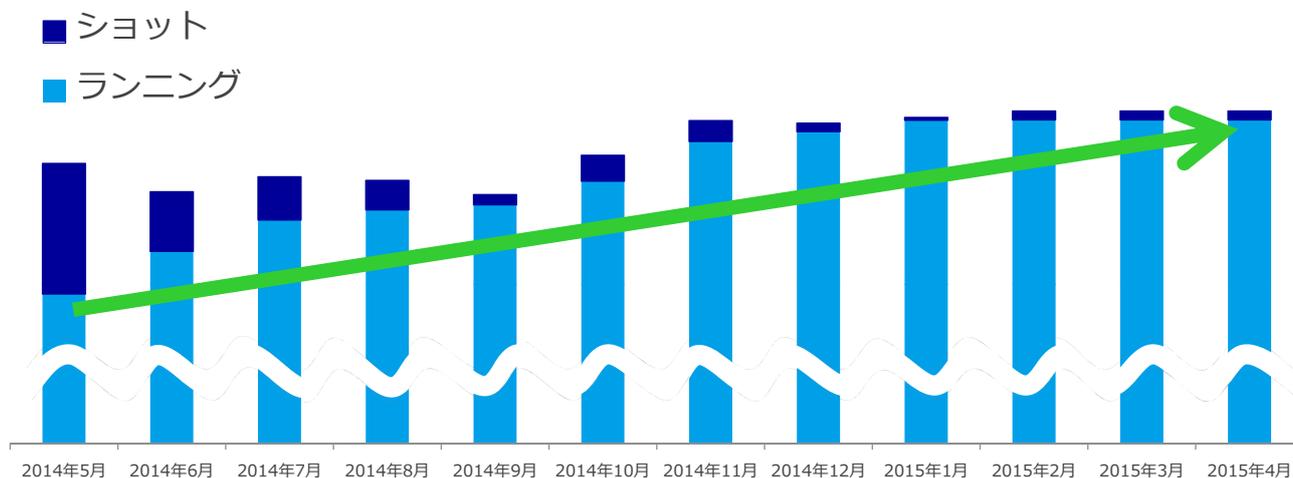
# CCインフラ 前期比

(単位:百万円)



レガシーインフラは減少するものの  
コスト構造の見直し及び、体制面の整備が完了し黒字化を達成

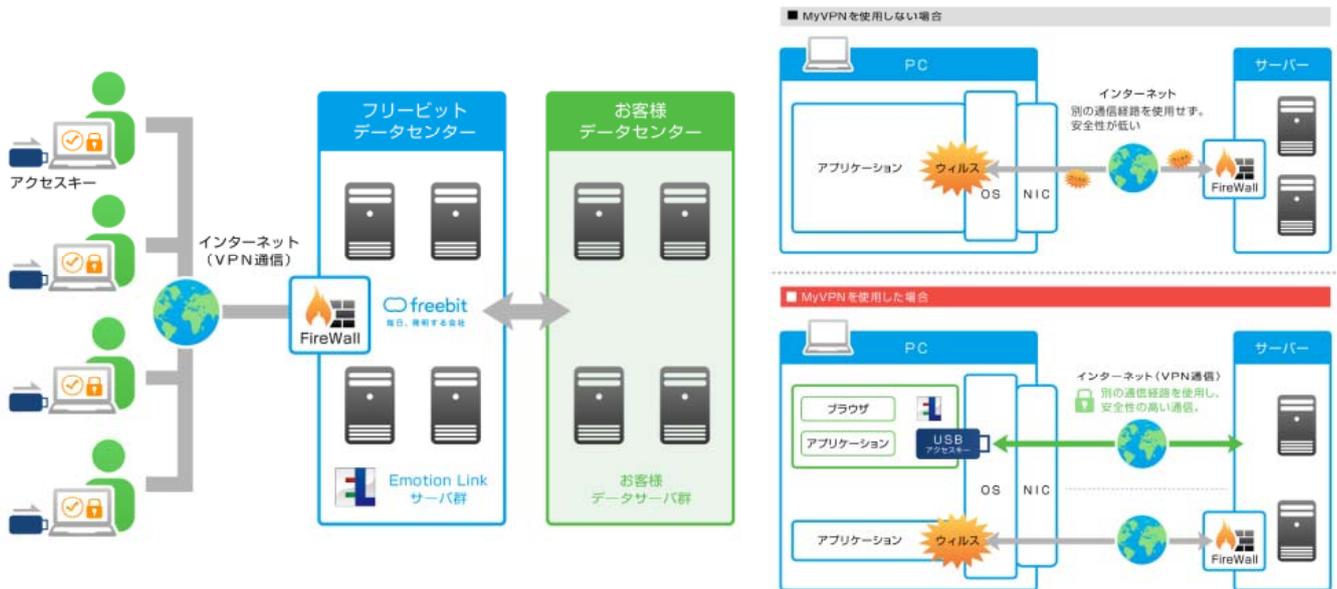
## CCインフラ事業概況-VDCの進捗



ターゲットを絞った営業施策により、継続売上が順調に増加

# 特許技術「Emotion Link」を用いたVPNサービスの大型案件の提供を開始

企業の情報セキュリティ対策に最適なSDNソリューションの大型案件の提供を4月より開始。東名阪地域への導入を皮切りに、今後全国展開を見据えてさらなるエリア拡大予定



25

## 5/25発表

フリービット初となる法人向けSaaS型クラウドサービス

フリービットクラウド

**File Server & Security**(Powered by VDC) の提供開始

### File Server & Security (Powered by VDC)

「いつでも」「どこでも」ファイルサーバーへアクセス!  
しかも、暗号化を超えた強固なセキュリティも実現可能!

フリービットのクラウドとネットワークだからこそできる、安全性と業務効率化を実現します!



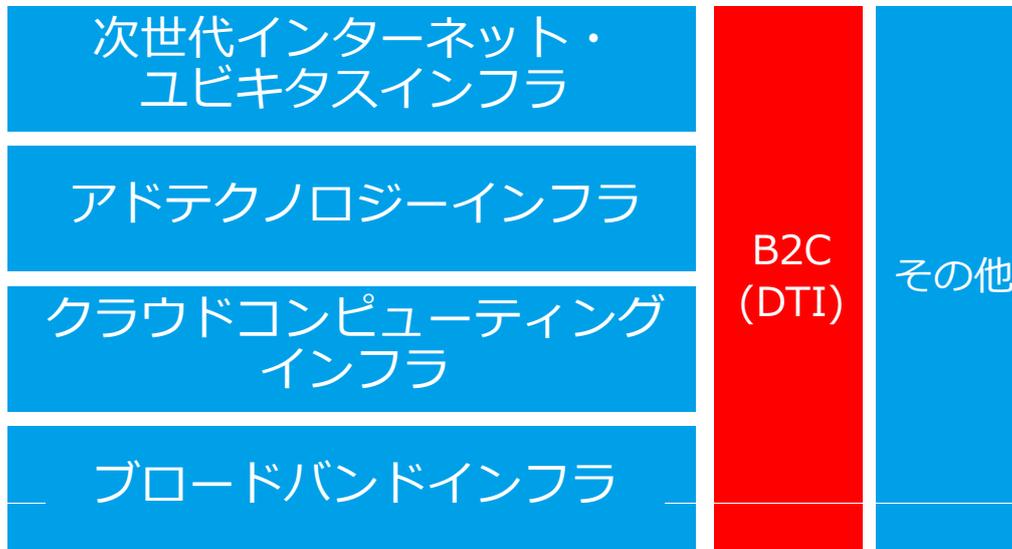
業務の効率化と高度なセキュリティを両立させたいという企業の要望を満たすサービスとして、幅広い業界から、多数の引き合いを獲得。拡張性の高さで導入/設定の容易さを兼ね備えたサービスで、既に医療業界関連企業やSier(システムインテグレーター) に提供を開始。

～さらなる受注案件の獲得に向け営業体制を強化～

26

# フリービットグループの事業

## Smart Infra 提供事業

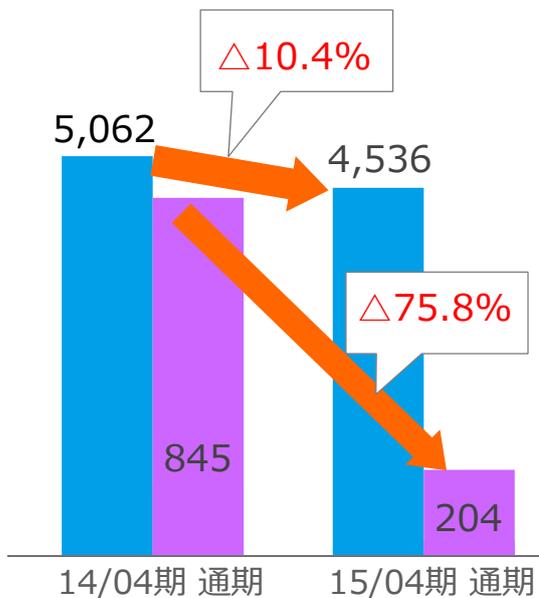


27

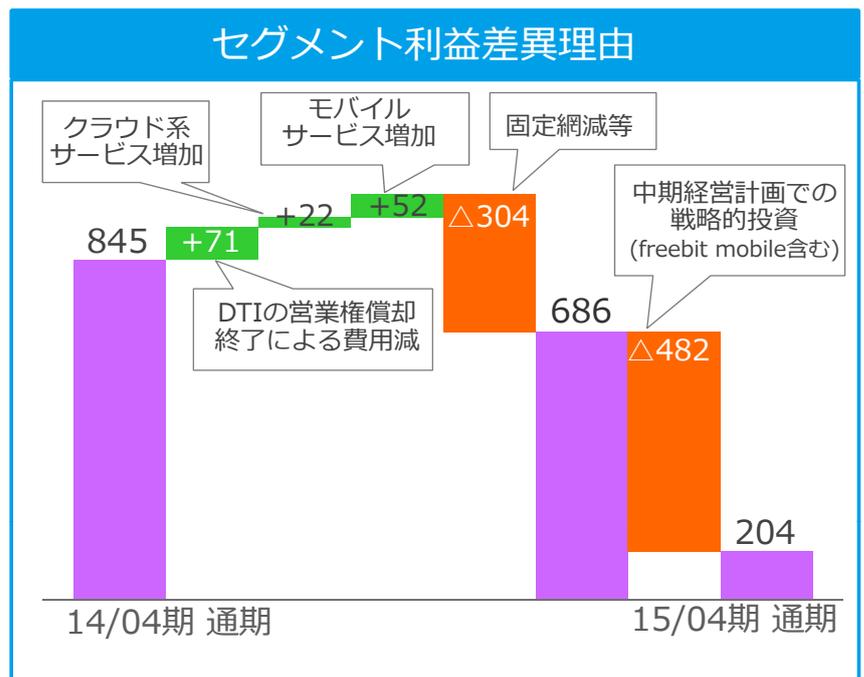
## B2C(DTI) 前期比



(単位:百万円)

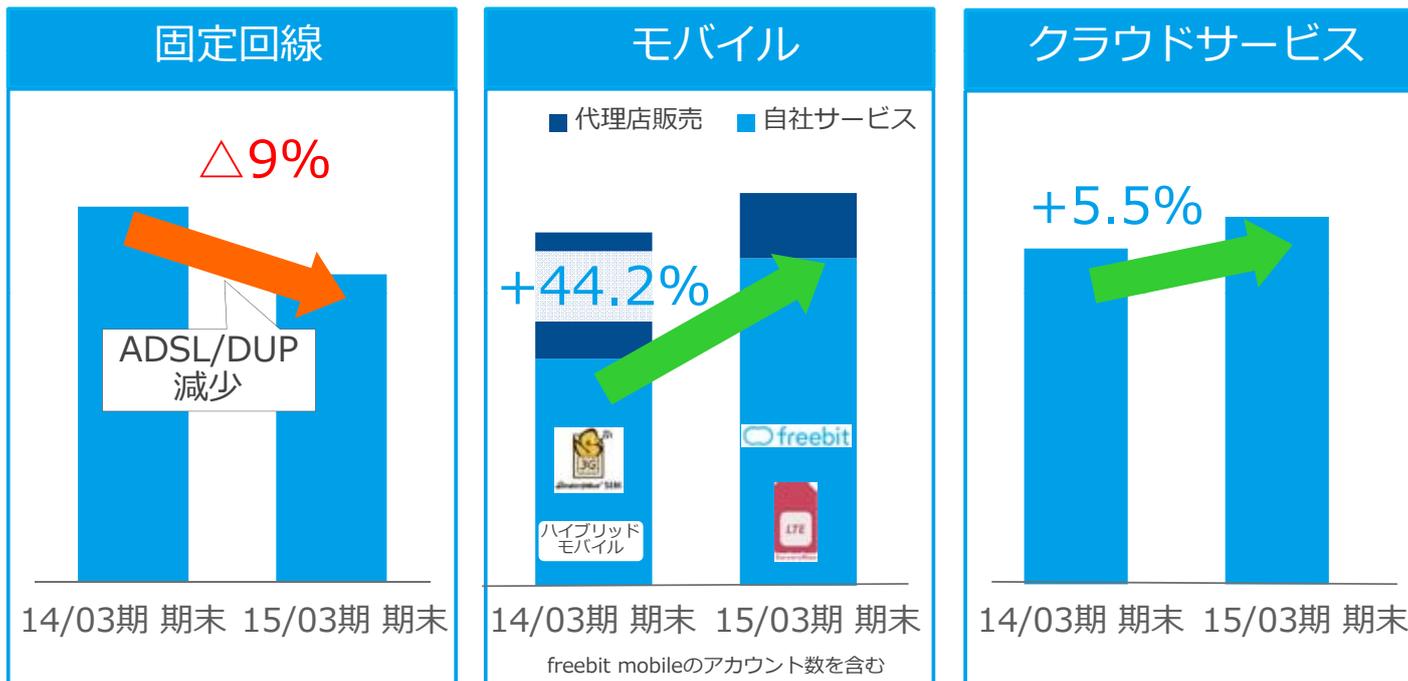


■ 売上高  
■ セグメント利益



重点戦略であるモバイル事業は順調に推移しているが、固定網のインセンティブの減収により売上高は前年同期比10.4%減  
fbmについては、第4QからCCCとの合併会社トーンモバイルへの事業移管を実施

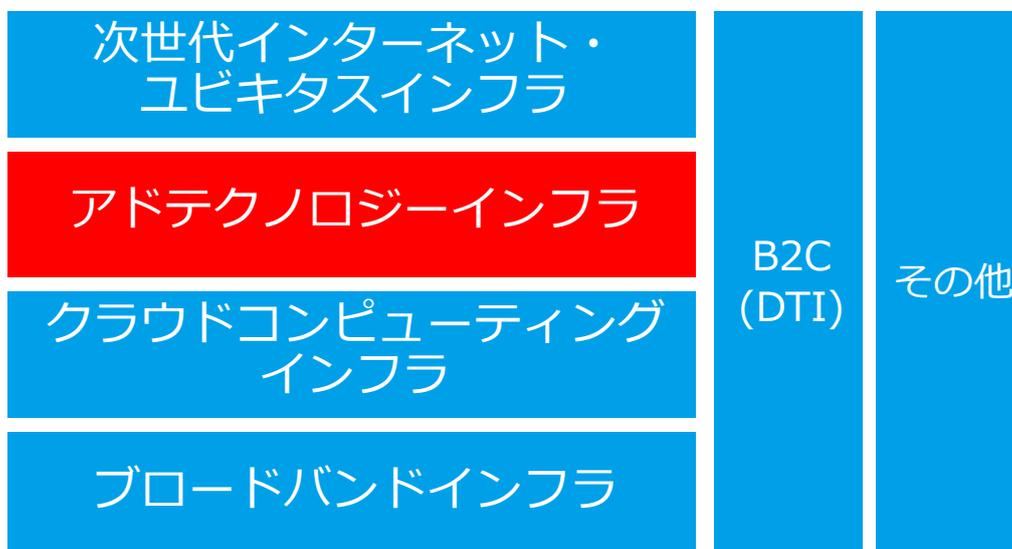
28



固定網からモバイルへのシフトにより、独自NWで提供しているモバイルが増加  
上記に伴うServersMan050ユーザやVPSユーザ等も増加

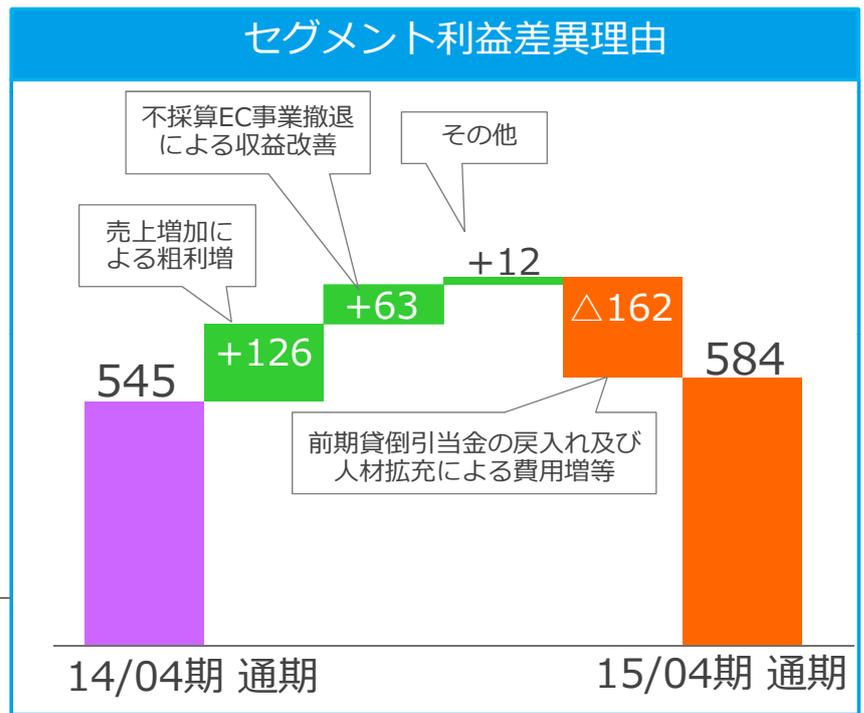
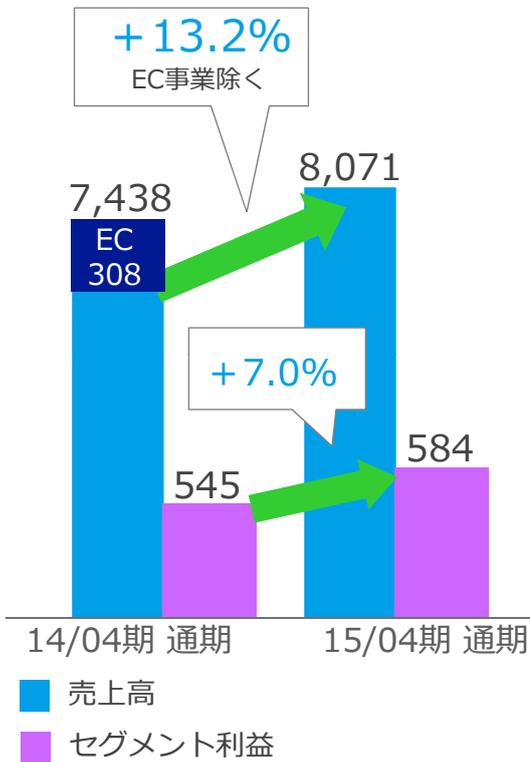
## フリービットグループの事業

### Smart Infra 提供事業



# ATインフラ 前年同期比

(単位:百万円)

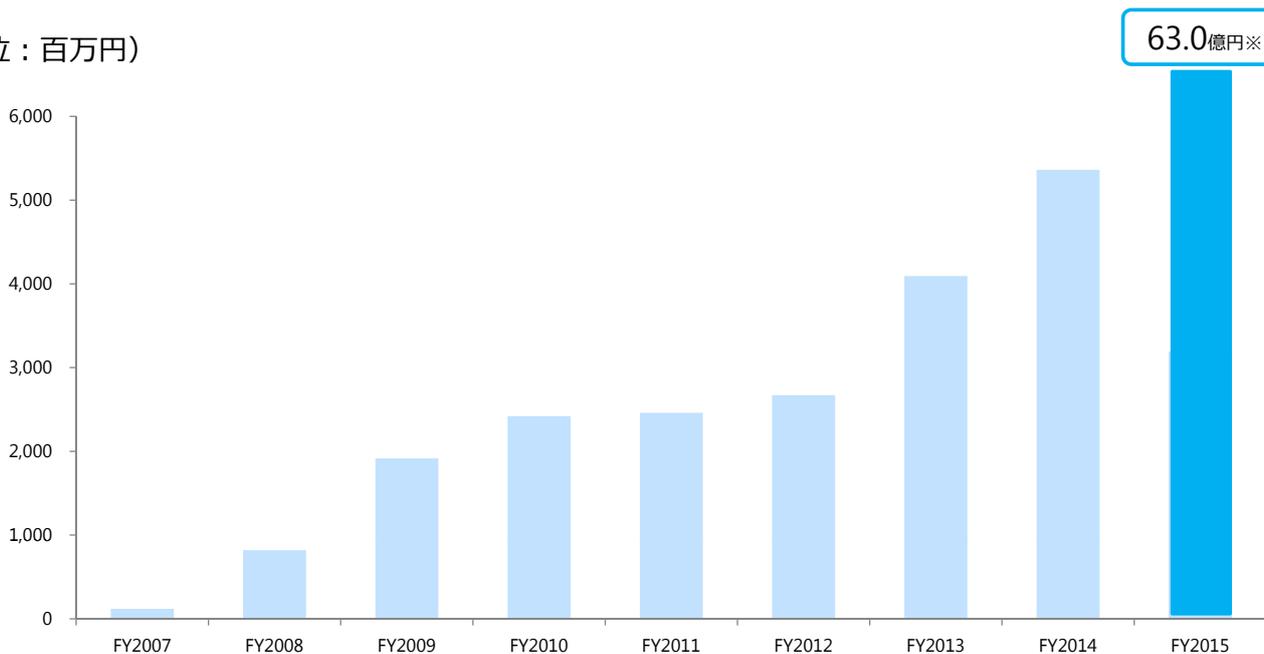


アドテクノロジー化への転換が順調に進んだ結果、増収増益に

# アドネットワーク事業の進捗

## アドネットワーク事業の売上推移

(単位:百万円)

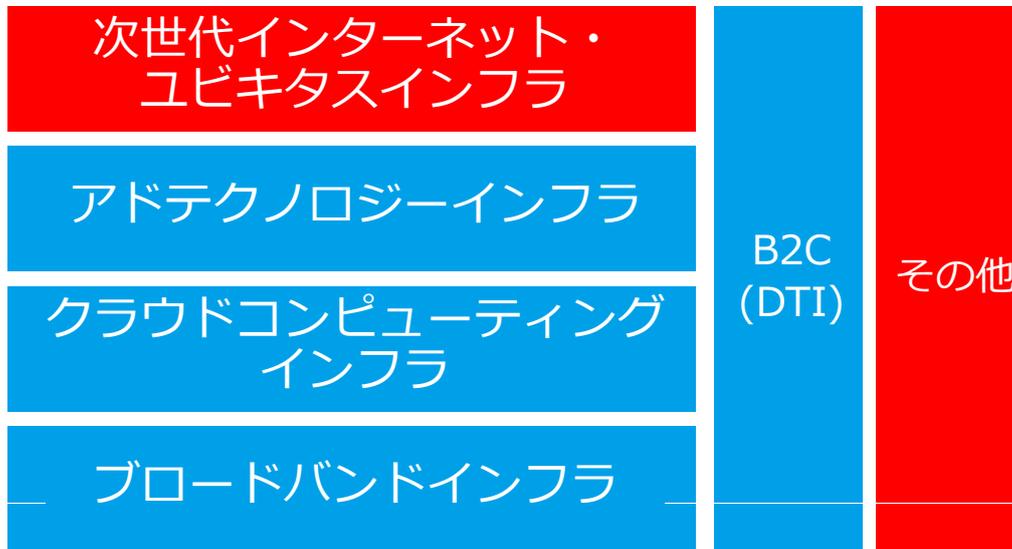


アドネットワーク事業は、前期比17.5%増、通期での大幅増収を達成  
収益性が高く今後の成長領域であるアドネットワーク事業の更なる拡大を目指す

※:売上データはグループ間消去前の数値

# フリービットグループの事業

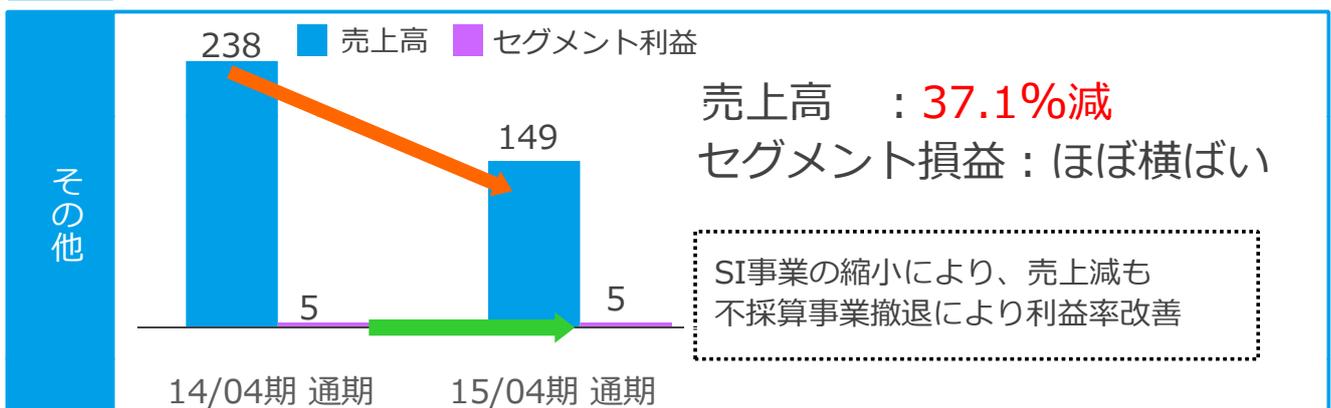
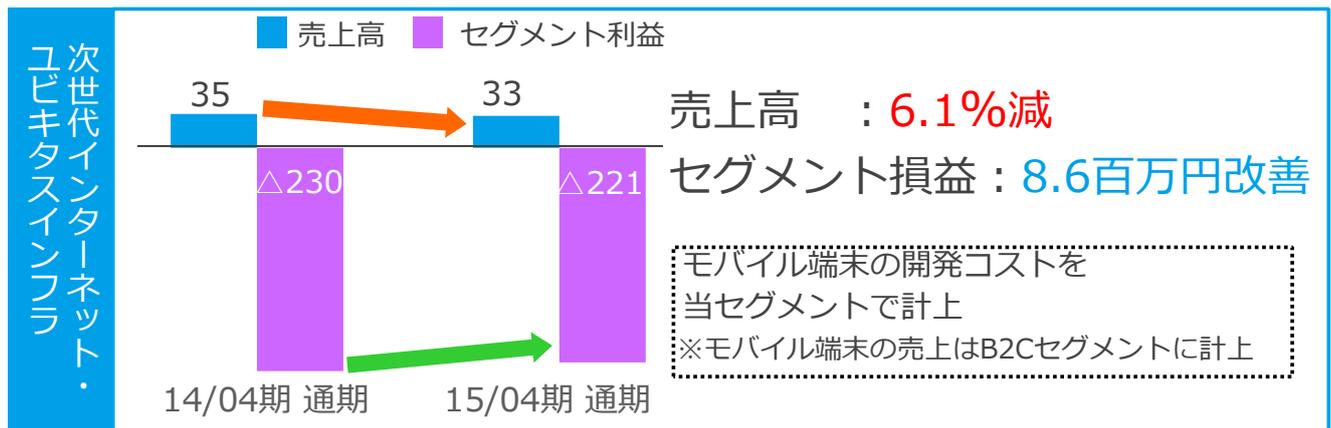
## Smart Infra 提供事業



33

## 次世代インターネット・ユビキタスインフラ/ その他事業 前年同期比

(単位:百万円)



34

# 2015年4月期 セグメント別業績総括

	売上高 前年同期比	営業利益 前年同期比	セグメント別業績総括
ブロードバンド インフラ	+14.4%	+50.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●固定網減少傾向は収束に向かう。<b>モバイルへのシフトへの注力が進み</b>、MVNO Packの売上および利益が拡大</li> <li>●GPと大手住宅総合メーカーとの提携による<b>マンションインターネットサービスは引き続き順調に推移</b></li> <li>●第2弾投資を実行するも、固定網NWコストの削減効果継続</li> </ul>
クラウドコン ピューティング インフラ	+3.2% ※VDCの売上  △8.2% ※CCインフラ全体	+135 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レガシーサービスからクラウドサービスへのシフトにより、利益改善が進んだ結果、<b>黒字化</b></li> <li>●VDCは大型ユーザの稼働が順調に推移</li> <li>●大型のVPNサービスの提供開始。16/04期業績に寄与</li> </ul>
B2C	△10.4%	△75.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ServersMan SIM LTE及びfreebit mobileの売上は堅調に推移するも、<b>固定網のインセンティブ収入の減収</b>により前期割れ</li> <li>●freebit mobileは第4QよりCCCとの合併会社に事業を移管</li> </ul>
アドテクノロジー インフラ	+13.2% ※EC事業除く  +8.5% ※ATインフラ全体	+7.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>アドテクノロジー領域における差別化したサービスへの転換</b>及び、不採算EC事業撤退による利益改善の結果、<b>通期で増収増益</b>を達成</li> </ul>

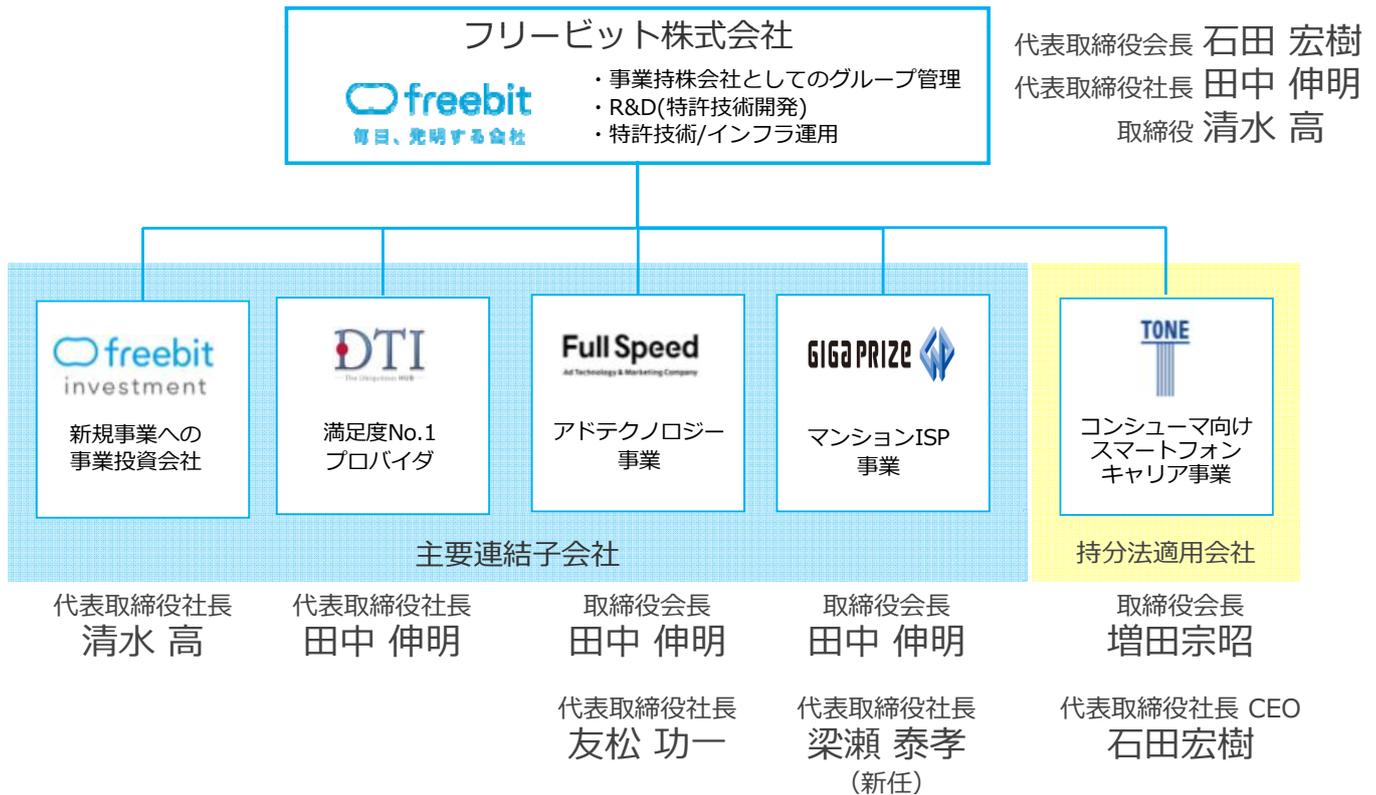
35

## 本日のアジェンダ

1. 2015年4月期 連結業績
2. 2015年4月期 セグメント別業績
3. 2016年4月期 業績予想

36

# 2016年4月期 フリービットグループ体制



## 2016年4月期 グループ基本方針

### 注力領域の深耕によるマーケットシェア拡大

注力領域	方針	対象会社
モバイル	MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す ✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保 ✓訪日インバウンド市場への進出 ✓IoT領域での継続課金ビジネスモデルの創出	 
アドテクノロジー	テクノロジーの活用によるマーケティング展開 ✓独自プラットフォームの加速展開 ✓訪日インバウンド市場でのビジネス拡大 ✓CCCとFBとの資本・業務提携を活用した新たなビジネスの創出	 
生活	住まいを核とした新たな価値創造 ✓センサー及び通信インフラを活用した新サービスの推進 ✓生活革命領域へのシード投資の推進	 

# 2016年4月期 グループ基本方針

## 注力領域の深耕によるマーケットシェア拡大

注力領域	方針	対象会社
モバイル	MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す ✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保 ✓訪日インバウンド市場への進出 ✓IoT領域での継続課金ビジネスモデルの創出	 毎日、発明する会社 
アドテクノロジー	テクノロジーの活用によるマーケティング展開 ✓独自プラットフォームの加速展開 ✓訪日インバウンド市場でのビジネス拡大 ✓CCCとFBとの資本・業務提携を活用した新たなビジネスの創出	 Ad Technology & Marketing Company F O R I T 
生活	住まいを核とした新たな価値創造 ✓センサー及び通信インフラを活用した新サービスの推進 ✓生活革命領域へのシード投資の推進	  毎日、発明する会社

39

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）



## MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す



トーンモバイル、U-NEXT社をはじめ、大手MVNO事業者への回線・ネットワーク・ハードウェアの提供により、業界TOPを目指す

40

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す



ビルディングブロック方式で、回線・ネットワーク・クラウドサービス・ハードウェア・顧客サポートまでをワンストップで提供するモバイルソリューションサービスの拡充

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す

### freebit MVNO Pack 帯域幅推移

「freebit MVNO Pack」導入

**U・mobile** **YAMADA SIM**

**BENEFIT JAPAN Co., Ltd.** 株式会社ベネフィットジャパン **東芝(M2Mソリューション)**

他、通信事業者系等の導入により、利用者数拡大



前年第4四半期比約4.6倍、16/04期第1四半期は対前四半期比約1.7倍の見込み

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保

2/18発表



49%出資

MVNO事業を推進する合併会社

トーンモバイル株式会社



51%出資



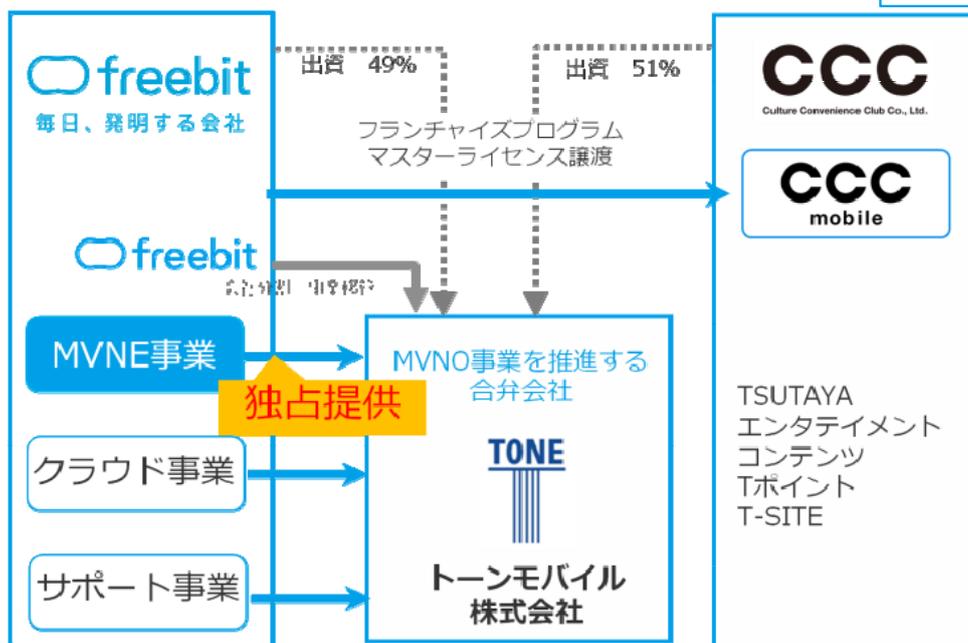
モバイル領域で今後100万ユーザーの獲得を目指す上での  
企画・営業力を強化

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保

2/18発表



トーンモバイルという大規模なMVNOに対し、回線・ネットワーク・ハードウェアを独占提供。MVNE事業を大幅拡大

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE&MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保

TSUTAYAリアル店舗における  
モバイル新ブランド「TONE mobile」  
スタート

TSUTAYA 天神駅前  
福岡ビル店 (6/9~)

TSUTAYA あべの橋店  
(6/12~)

MORIOKA  
TSUTAYA (5/27~)

- ・ SHIBUYA TSUTAYA (5/5 ~)
- ・ TSUTAYA 桜新町店(5/15 ~)
- ・ TSUTAYA 中目黒店(5/21~)

7月末までに12店舗拡大、順次全国へ拡大

# 2016年4月期 グループ基本方針（モバイル）

## MVNE&MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保

SHIBUYA TSUTAYA TONEストアOPEN風景



MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保



# TONE=Tのスマホ

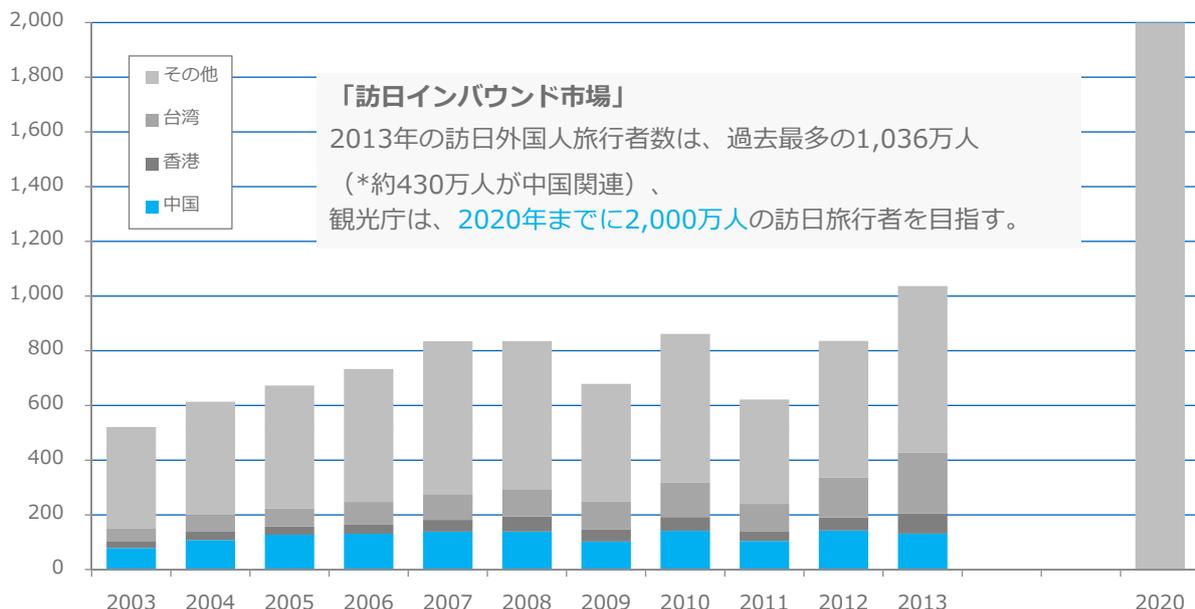
- ✓Tポイントとの連携によるポイント付与
- ✓TSUTAYAとの連携によるキャンペーン展開
- ✓音楽サービスMUSICOやTSUTAYAでのレンタル割引等、順次サービスの拡大

CCCグループとの提携効果によるサービスの拡大を推進

MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す

✓訪日インバウンド市場への進出

(単位：万人)



中国ビジネスパートナーとの協業による  
訪日外国人旅行者へのSIM販売事業を開始

# 2016年4月期 グループ基本方針

## 注力領域の深耕によるマーケットシェア拡大

注力領域	方針	対象会社
モバイル	MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す ✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保 ✓訪日インバウンド市場への進出 ✓IoT領域での継続課金ビジネスモデルの創出	 毎日、活用する会社 
アドテクノロジー	テクノロジーの活用によるマーケティング展開 ✓独自プラットフォームの加速展開 ✓訪日インバウンド市場でのビジネス拡大 ✓CCCとFBとの資本・業務提携を活用した新たなビジネスの創出	 Ad Technology & Marketing Company F O R I T 
生活	住まいを核とした新たな価値創造 ✓センサー及び通信インフラを活用した新サービスの推進 ✓生活革命領域へのシード投資の推進	  毎日、活用する会社

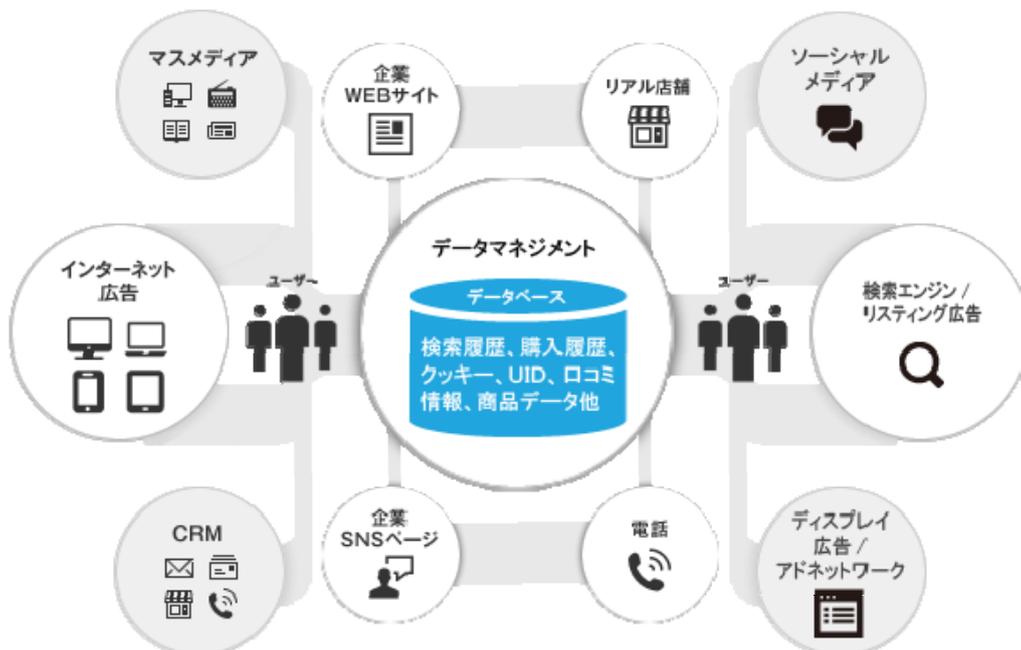
49

# 2016年4月期 グループ基本方針（アドテク）



## テクノロジーの活用による新マーケティング展開

✓独自プラットフォームの加速展開



外部との連携強化によるデータマネジメントを軸とした幅広い広告ソリューションを提供

50

# 2016年4月期 グループ基本方針（アドテク）

## テクノロジーの活用による新マーケティング展開

✓訪日インバウンド市場でのビジネス拡大

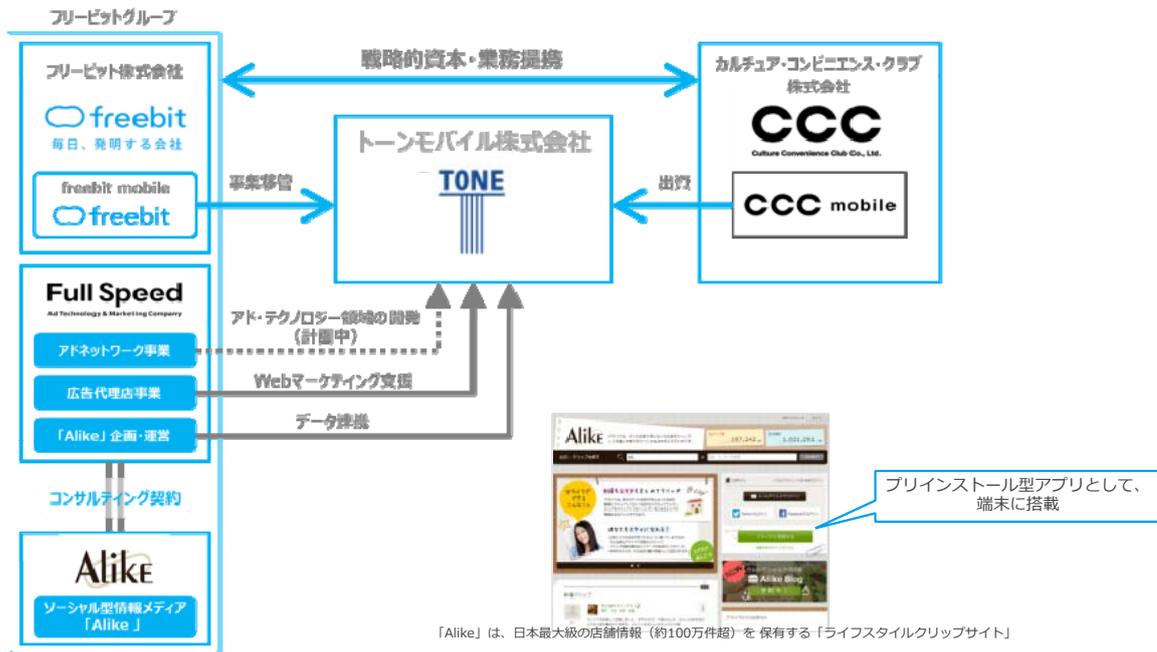


訪日観光客にさまざまなタッチポイントでアプローチし、網羅的な広告ソリューションを展開

# 2016年4月期 グループ基本方針（アドテク）

## テクノロジーの活用による新マーケティング展開

✓CCCとFBとの資本・業務提携を活用した新たなビジネスの創出



第1弾は、FS社の提供する情報サービス「AliKE」とトーンモバイルが提供するスマートフォン端末「TONE」のプリインストール型アプリとの連携

# 2016年4月期 グループ基本方針

## 注力領域の深耕によるマーケットシェア拡大

注力領域	方針	対象会社
モバイル	MVNE & MVNO市場でのトップシェアを目指す ✓大規模MVNOへの帯域卸によるシェア確保 ✓訪日インバウンド市場への進出 ✓IoT領域での継続課金ビジネスモデルの創出	 毎日、活用する会社 
アドテクノロジー	テクノロジーの活用によるマーケティング展開 ✓独自プラットフォームの加速展開 ✓訪日インバウンド市場でのビジネス拡大 ✓CCCとFBとの資本・業務提携を活用した新たなビジネスの創出	 Ad Technology & Marketing Company F O R I T 
生活	住まいを核とした新たな価値創造 ✓センサー及び通信インフラを活用した新サービスの推進 ✓生活革命領域へのシード投資の推進	  毎日、活用する会社

53

# 2016年4月期 グループ基本方針（生活）



## 住まいを核とした新たな価値創造

✓センサー及び通信インフラを活用した新サービスの推進



住まいを核とする様々なサービスの共通基盤を創出することで新たな価値を創造

54

## 2016年4月期 業績予想

(単位:百万円)

	15/4期実績	16/4期予想	前期比
売 上	21,469	27,000	125.8%
営業利益	1,244	1,500	120.5%
経常利益	982	1,000	101.8%
当期純利益	1,025	200	19.5%
1株当たり純利益	51円40銭	8円87銭	

55

## 2016年4月期業績予想内訳 (売上)

(単位:百万円)

内 訳	15/04期	16/04期	増 減
ブロードバンド事業 (マンションインターネット)	2,178	2,726	<b>+548</b>
モバイル事業 (MVNE)	1,452	3,532	<b>+2,080</b>
モバイル事業 (ハードウェア)	0	1,414	<b>+1,414</b>
アドテクノロジー事業	7,867	10,070	<b>+2,203</b>

成長基調であるモバイル/アドテクノロジー/  
マンションインターネットへの注力

56

## 2016年4月期 注力事業への戦略的投資

### モバイル事業／アドテクノロジー事業への戦略的投資を実行

(単位:百万円)

投資分野		項目	計画
NW関連	モバイル	事業成長を視野に入れた設備増強及び各種ライセンス取得ならびにシステム構築	370
	固定網	トラフィック増に応じた品質改善に向け、ネットワーク増強	210
アドテクノロジー関連		DSPをはじめとするアドテクノロジー関連商材の継続開発	75

57

## セグメント変更について

旧セグメント	新セグメント
ブロードバンドインフラ	ブロードバンド事業 •ISP/集合住宅/個人向け固定回線インターネット接続事業
クラウドコンピューティングインフラ	モバイル事業 •通信事業者/個人向け移動通信事業 (MVNE)
アドテクノロジーインフラ	アドテクノロジー事業 •インターネットマーケティング関連事業
次世代インターネットユビキタスインフラ	クラウド事業 •法人向け仮想データセンタ事業 •法人/個人向けクラウドサービス事業
B2C	その他 •SI事業他
その他	

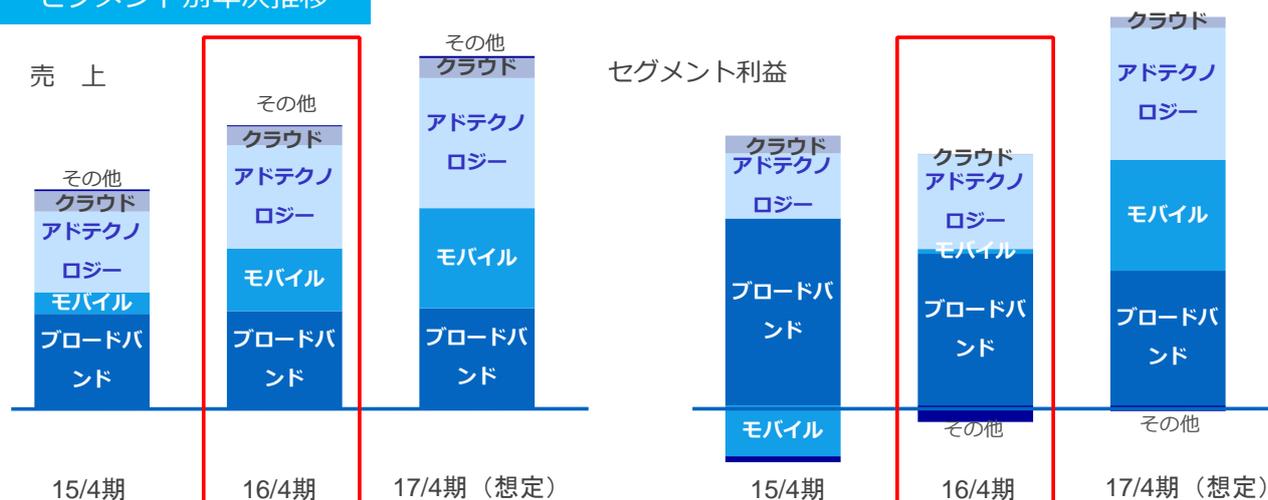
今後の注力事業の動向について明確化することを目的とした新セグメントに変更

58

## 2016年4月期 セグメント別業績目標

セグメント名	16/4期 (百万円)	
	売上	セグメント利益
ブロードバンド事業	9,675	1,367
モバイル事業	5,273	44
アドテクノロジー事業	10,305	850
クラウド事業	1,891	6
その他	102	△149

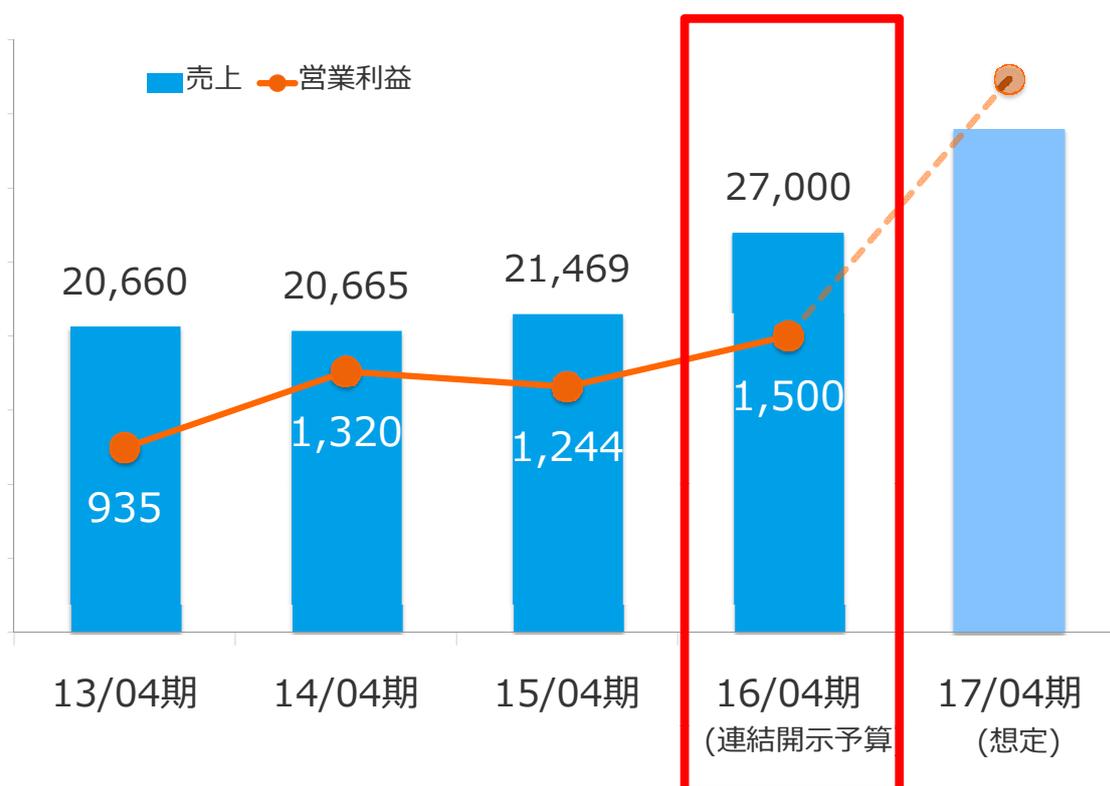
### セグメント別年次推移



59

## フリービットグループ業績推移

(単位:百万円)



60



毎日、発明する会社

- ※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。
- ※ 「BBインフラ 前年同期比」「CCインフラ 前年同期比」「ATインフラ 前年同期比」スライドにおいて、当連結会計年度より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、ブロードバンドインフラ、クラウドコンピューティングインフラ及びアドテクノロジーインフラに関する一部の費用の配賦方法を各セグメントの事業実態にあった合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。